



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまや

コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 山内 英靖

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長

(氏名) 久野 朋美

TEL 022-742-3115

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	61,507	3.2	1,404	△5.4	1,470	△9.0	902	△6.5
25年3月期第2四半期	59,578	8.7	1,484	△14.6	1,615	△12.3	965	△13.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 903百万円 (△5.6%) 25年3月期第2四半期 957百万円 (△12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	83.25	—
25年3月期第2四半期	89.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	36,493	21,046	57.7	1,940.98
25年3月期	35,728	20,306	56.8	1,872.64

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 21,046百万円 25年3月期 20,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年3月期	—	12.00			
26年3月期(予想)			—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	5.9	3,650	2.8	3,850	2.2	2,270	2.3	209.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	10,847,870 株	25年3月期	10,847,870 株
26年3月期2Q	4,675 株	25年3月期	4,155 株
26年3月期2Q	10,843,338 株	25年3月期2Q	10,844,098 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P	2
(1)	経営成績に関する説明	P	2
(2)	財政状態に関する説明	P	3
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P	5
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P	5
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P	5
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P	5
3.	四半期連結財務諸表	P	6
(1)	四半期連結貸借対照表	P	6
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P	8
	四半期連結損益計算書		
	第2四半期連結累計期間	P	8
	四半期連結包括利益計算書		
	第2四半期連結累計期間	P	9
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P	10
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P	11
	(継続企業の前提に関する注記)	P	11
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P	11
	(重要な後発事象)	P	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、アベノミクスへの期待感による株価の上昇、円高の是正等景気回復に向けての動きが高まりましたが、所得・雇用情勢には厳しさが残り、海外景気の下振れ懸念などから国内景気の先行きは、依然として不透明な状況となっております。

小売業界におきましても、業態間、企業間の品揃え競争、価格競争も一層激しさを増している中、原材料の価格高騰や電気料金の値上げの影響、消費税増税など、先行きに対する懸念は払拭されておらず、厳しい経営環境が続いております。

酒類販売業界では、最もマーケットボリュームの大きいビール系飲料（ビール・発泡酒・新ジャンル）の8月出荷量は、下旬の天候不順が影響し前年比2.8%のマイナスとなりました。

このような中、当社はドイツNo.1ビール「エッティンガー」3製品を導入し、輸入商品、地域商品の両面でお品揃えを強化し、新規出店と、改装による既存店の活性化を推し進めるとともに、地域物流を強化し、トータルコストの低減に努め、経営基盤の強化と経営効率の向上へ取り組んでまいりました。

今年度の新規出店は、あけぼの店、生協愛子店、白石北店（宮城県）、桜田店（山形県）、柏崎店（新潟県）、小杉店（富山県）、御池高瀬川店（京都府）、博多駅東店（福岡県）の8店舗を開店しました。

だいじん千石町店（富山県）、びっくり酒店長浜みなと店、びっくり酒店室見店（福岡県）を近隣店舗に集約するため、旧柏崎店（新潟県）は移転のため閉店し、合計4店を閉店しました。

既存店の改装は、大崎店、佐沼店、若林西店（宮城県）、スピード西大津店（滋賀県）、楽市川西店（兵庫県）、スピード服部店（大阪府）の6店舗の改装を実施し、西大津店、川西店、服部店につきましては、酒類と嗜好品の専門店として、業態転換を図る改装を行い、店名を「やまや」に変更いたしました。

以上の結果、当社グループの総店舗数は307店舗になりました。

当第2四半期は、東北地方などにおける遅い梅雨明け、8月下旬の天候不順や豪雨などが影響し、既存店売上高が前年実績をやや下回りましたが、前年の新店、譲受店舗及び今年度の新店の売上が加わることにより、売上高は103.2%と伸張いたしました。

費用面では、新店の初年度経費、電気料金の値上げ、店舗の照明のLED化による費用一括計上（35店舗実施で94百万円）により、販管費が増加しました。

これらの結果、当第2四半期における連結業績は、売上高が615億7百万円（前年同期比103.2%）、営業利益は14億4百万円（同94.6%）、経常利益は14億70百万円（同91.0%）、四半期純利益は9億2百万円（同93.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

財政状態

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)	増減
総資産(百万円)	35,728	36,493	765
総負債(百万円)	15,422	15,447	25
うち借入金(百万円)	3,116	4,318	1,202
純資産(百万円)	20,306	21,046	740
自己資本比率	56.8%	57.7%	0.9%
1株当たり純資産(円)	1,872.64	1,940.98	68.34

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて7億65百万円(2.1%)増加し、364億93百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が2億62百万円減少し、商品及び製品が8億4百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて5億3百万円(2.9%)増加し176億25百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて2億61百万円(1.4%)増加し、188億68百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて25百万円(0.2%)増加し、154億47百万円となりました。

流動負債は、買掛金で7億11百万円減少し、短期借入金で12億2百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて3百万円(△0.0%)減少し、139億94百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて28百万円(2.0%)増加し、14億53百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて7億40百万円(3.6%)増加し、210億46百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.8%から57.7%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減
営業キャッシュ・フロー	△274	△466	△192
投資キャッシュ・フロー	△895	△834	60
フリー・キャッシュ・フロー	△1,169	△1,301	△131
財務キャッシュ・フロー	1,084	1,038	△46

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて2億62百万円減少し、31億87百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は、4億66百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が14億70百万円、減価償却費が6億51百万円となりましたが、たな卸資産の増加で8億9百万円、仕入債務が7億11百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、8億34百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得に6億12百万円、投資有価証券の取得に2億18百万円を支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で得られた資金は、10億38百万円となりました。

主な要因は、短期借入金の純増加で15億円、長期借入金の返済に2億97百万円、配当金の支払に1億62百万円を支出したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成25年5月7日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,449	3,187
売掛金	1,609	1,505
商品及び製品	10,643	11,447
仕掛品	58	59
原材料及び貯蔵品	25	28
前払費用	396	407
繰延税金資産	364	305
その他	574	683
流動資産合計	17,121	17,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,452	17,768
減価償却累計額	△10,322	△10,691
建物及び構築物(純額)	7,130	7,077
機械装置及び運搬具	2,645	2,653
減価償却累計額	△2,127	△2,185
機械装置及び運搬具(純額)	517	468
工具、器具及び備品	5,221	5,493
減価償却累計額	△4,044	△4,253
工具、器具及び備品(純額)	1,176	1,239
土地	4,955	4,955
建設仮勘定	15	61
有形固定資産合計	13,794	13,801
無形固定資産		
ソフトウェア	15	13
のれん	20	18
その他	23	22
無形固定資産合計	59	54
投資その他の資産		
投資有価証券	430	634
関係会社株式	461	511
破産更生債権等	36	1
長期前払費用	121	117
差入保証金	3,477	3,476
繰延税金資産	257	267
その他	32	3
貸倒引当金	△65	△1
投資その他の資産合計	4,752	5,012
固定資産合計	18,606	18,868
資産合計	35,728	36,493

(株)やまや(9994)平成26年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,149	7,437
短期借入金	2,500	4,000
1年内返済予定の長期借入金	616	318
未払金	718	698
未払費用	447	368
未払法人税等	831	557
未払消費税等	165	69
預り金	74	27
賞与引当金	411	429
その他	83	87
流動負債合計	13,997	13,994
固定負債		
退職給付引当金	38	36
役員退職慰労引当金	460	497
資産除去債務	570	589
負ののれん	58	29
その他	296	300
固定負債合計	1,424	1,453
負債合計	15,422	15,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	6,055	6,055
利益剰余金	10,899	11,639
自己株式	△4	△5
株主資本合計	20,197	20,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109	109
その他の包括利益累計額合計	109	109
純資産合計	20,306	21,046
負債純資産合計	35,728	36,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	59,578	61,507
売上原価	49,777	51,013
売上総利益	9,801	10,493
販売費及び一般管理費	8,316	9,089
営業利益	1,484	1,404
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	6	7
受取賃貸料	41	—
受取手数料	20	—
業務受託手数料	10	—
持分法による投資利益	36	33
負ののれん償却額	29	29
その他	30	18
営業外収益合計	181	93
営業外費用		
支払利息	6	3
店舗改装費用	13	8
店舗閉鎖損失	2	5
賃貸収入原価	17	—
その他	10	9
営業外費用合計	50	26
経常利益	1,615	1,470
税金等調整前四半期純利益	1,615	1,470
法人税、住民税及び事業税	597	519
法人税等調整額	51	48
法人税等合計	649	567
少数株主損益調整前四半期純利益	965	902
四半期純利益	965	902

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	965	902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	0
その他の包括利益合計	△8	0
四半期包括利益	957	903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	957	903
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,615	1,470
減価償却費	625	651
長期前払費用償却額	8	9
のれん償却額	28	2
負ののれん償却額	△29	△29
持分法による投資損益(△は益)	△36	△33
支払利息	6	3
受取利息及び受取配当金	△10	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△78	18
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2	3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	36
未収入金の増減額(△は増加)	△112	△92
売上債権の増減額(△は増加)	44	104
たな卸資産の増減額(△は増加)	△897	△809
仕入債務の増減額(△は減少)	△264	△711
その他	△287	△315
小計	617	295
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△6	△3
法人税等の支払額	△891	△766
営業活動によるキャッシュ・フロー	△274	△466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△218
有形固定資産の取得による支出	△808	△612
長期前払費用の取得による支出	△16	△4
差入保証金の差入による支出	△156	△71
差入保証金の回収による収入	86	75
その他	—	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△895	△834
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,600	1,500
長期借入金の返済による支出	△297	△297
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△216	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,084	1,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△85	△262
現金及び現金同等物の期首残高	3,305	3,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,220	3,187

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年11月7日開催の取締役会において、当社によるチムニー株式会社（コード番号3178株式会社東京証券取引所市場第二部。以下「対象者」といいます。）の連結子会社化を目的として、対象者の普通株式について公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施することを決議いたしました。

1. 公開買付けの目的

本公開買付けは、対象者を連結子会社化して当社のグループ会社とすることによって、対象者との提携関係を構築することを目的としております。

2. 対象者の概要

(1) 名称	チムニー株式会社
(2) 所在地	東京都墨田区横網一丁目3番20号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 和泉 學
(4) 事業内容	居酒屋を中心とした飲食業
(5) 資本金	5,772百万円（平成25年9月30日現在）
(6) 設立年月日	平成21年9月16日

3. 本公開買付けの概要

(1) 買付予定数	9,500,000株
(2) 買付予定数の下限	9,500,000株
(3) 買付予定数の上限	9,500,000株
(4) 買付け期間	平成25年11月8日から平成25年12月5日まで（20営業日）
(5) 買付け等の価格	普通株式1株につき、金1,510円
(6) 買付代金	14,345百万円 (注) 買付代金は買付予定数（9,500,000株）に普通株式1株当たりの 買付価格（1,510円）を乗じた金額
(7) 決済の開始日	平成25年12月12日
(8) 買付資金の調達方法	銀行からの借入金を充当